

代表者名	加藤 哲郎	所管部課名	健康福祉部健康推進課
所在地	秋田市千秋久保田町6番6号	設立年月日	平成7年3月29日

**【沿革及び県の出捐理由】**

移植医療の推進を図り、県民の医療の向上のため、県等の出捐により(財)秋田県臓器移植推進協会として平成7年3月29日設立。平成17年4月、角膜移植等を推進してきた(財)秋田県アイバンクと統合し、名称を(財)あきた移植医療協会に改称。

**【出捐者】(21年度当初)** (千円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	74,810	43.5
市町村	25	73,820	43.0
その他	64	23,160	13.5
計	90	171,790	100.0

**【事業】**

**主たる業務**

臓器移植に関する法律に基づく移植医療についての正しい知識の普及と角膜移植を含めた臓器移植に対する理解を深めるため、各種啓発事業を実施するとともに、医療機関との連携体制の整備や院内コーディネーターの研修を実施するなど臓器提供者の確保に努める。

**事業実績** (枚、力所)

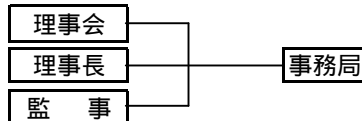
事業名等	18年度	19年度	20年度
意思表示カード等の配布	69,205	52,210	55,075
コーディネーター活動	488	473	543

**20年度事業概要及び21年度事業計画・目標**

普及啓発事業は、意思表示カード等の配布を公共機関、医療機関等に設置するとともに、街頭キャンペーン、種苗交換会でも行ったほか、臓器移植フォーラムを開催した。また、ホームページを開設した。医療関係者普及啓発事業では、院内C.O.の研修会、臓器提供施設懇話会を開催したほか腎臓病を考える集い、脳死下臓器移植シミュレーションに共催及び指導助言を行った。21年度は、引き続き普及啓発事業を重点にし、特に健康保険証等に臓器提供意思表示欄の導入を推進するとともに、院内コーディネーターの養成及び身分の確立を図る。また、財源の確保のため、引き続き賛助会員の拡充に取り組む。

**【組織】**

**運営機構**



**役員数(H21.7.1現在) (人)**

	理	事	監	事
常勤				
内、県退職者				
内、県職員				
非常勤	15		2	
内、県退職者	1		1	
内、県職員				
計	15		2	
内、県関係者	1		1	

**職員数(H21.4.1現在)(人)**

正職員	2	正職員 平均年齢	正職員 平均勤続年数
内、県退職者	1		
内、県職員		50	7.4年
出向職員			
内、県職員			
臨時・嘱託	2		
内、県退職者			
計	4	正職員平均年収	3389千円
内、県関係者	1		

役員報酬支給対象者数	-	人
役員報酬支給対象者平均年齢	-	歳
平均役員報酬額	-	千円/年

**【財務】**

**損益状況(20年度) (千円)**

	金額
経常収入 A	9,829
受託事業収入	6,290
補助金収入	0
自主事業収入	400
運用益収入	1,784
その他	1,355
経常支出 B	16,061
人件費	11,133
その他	4,928
経常損益 C = A - B	6,232
経常外収入	1,400
経常外支出	
当期損益	4,832

**財務状況(20年度末) (千円、%)**

	金額	構成比
流動資産	38,888	18.2
固定資産	174,591	81.8
資産計	213,479	100.0
流動負債	158	0.1
短期借入金		0.0
固定負債		0.0
長期借入金		0.0
引当金等		0.0
負債計	158	0.1
基本金	171,790	80.5
剰余金	41,531	19.5
資本計	213,321	99.9
負債・資本計	213,479	100.0

県の損失補償額	県の債務保証額

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率

**【県の財政支出】**

	18年度	19年度	20年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	2,000	2,000	0	角膜移植事業運営費補助金
委託費	6,475	6,475	6,290	臓器移植連絡調整者設置委託費
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	18年度	19年度	20年度	18-19増減	19-20増減
健全性	自己資本比率	%	99.85	99.92	99.93	0.06	0.01
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	15,548.79	24,561.75	24,612.66	9,012.96	50.91
収益性	剰余金(欠損金)	千円	53,152	46,362	41,531	6,790	4,831
	経常利益率	%	48.46	49.00	63.40	0.54	14.40
	総資本利益率	%	2.59	2.66	2.92	0.07	0.26
発展性	経常収入額	千円	12,035	11,832	9,829	203	2,003
効率性	総資本回転率		0.05	0.05	0.05	0.00	0.01
	職員1人当たり経常収入	千円	4,012	2,958	2,457	1,054	501
	人件費比率	%	97.94	96.86	113.27	1.07	16.40

2 経営目標の達成状況

経営目標			18年度	19年度	20年度	21年度
経営改善指標	人件費比率(人件費/公益事業支出)%	目標	66	67	61	61
		実績	68	67	71	
事業成果指標	県委託費の割合(%)	目標	68	68	61	61
		実績	70	71	64	
事業成果指標	意思表示カード等	目標	57,000	57,000	57,000	57,000
		実績	69,205	52,210	55,075	
	院内コーディネーター設置病院の割合(%)	目標	77	77	77	82
		実績	71	82	82	
顧客満足度指数	目標	-	-	-	-	
	実績	-	-	-	-	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

移植医療に関する正しい知識の普及と理解を得るため、普及資料の公共施設、医療機関等への設置、フォーラム等の自主事業において配布をしたほか新たにホームページの開設と協会パンフレットの作成を行い、普及活動の充実を図った。また、新たに健康保険証に臓器提供意思表示欄の導入、院内コーディネーターの身分確立に取り組んだほか、医療関係普及活動事業を積極的に進めた。

臓器移植法の改正が論議されている中、今後一般普及啓発事業と併せ医療関係者普及啓発事業を積極的に展開していく必要がある。

4 総合評価(計算書類等の資料による評価)

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
<p>・角膜移植事業補助金が前年度で打ち切りになり、臓器移植連絡調整者設置委託費も年々減額となっている。コーディネーター設置事業費9.2百万円は、当該委託料を上回っている。普及啓発事業費、管理経費を賄う運用益収入等は明らかに不足しており、経常損失は6.2百万円である。4期連続の赤字である。</p> <p>・現状の試算では、剰余金41百万円は平成25年度頃で消滅することになっている。法人のあり方についての検討を早期に行うことが望まれる。</p>	